

福井県民生活協同組合 サステナビリティレポート2024



2024年度 新入協職員



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および再生資源から作られています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

県民せいきよう
コールセンター

●ホームページ

●県民せいきよう
SNS一覧

県民せいきようの
SDGsの取り組みを
紹介しています。

福井県民生活協同組合 〒910-8557 福井市開発5丁目1603番地

おかけ間違いがないように、番号をお確かめください。

0120-016-165

【受付時間】月～金曜日/午前8時30分～午後8時 土曜日/午前9時～午後5時
※受付時間外は、音声ガイドにて、お問い合わせの受付と、緊急時の連絡先をご案内しています。

COOP 県民せいきよう

ごあいさつ



理事長 松宮 幹雄

2023年度は、約4年に渡り経済や国民のくらしに大きく影響した新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが変更され、社会やくらしはコロナ禍を乗り越えその先に向かいつつあるものの、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東地域での紛争、歴史的な円安や天候不順による不作など原材料が高騰したことを受けて、エネルギーや食料など生活必需品の価格が上昇し、私たち消費者のくらしは引き続き厳しい状況が続きました。また元日に能登半島を襲った震度7の地震や、世界の平均気温が観測史上最高を記録するなど、国内外での自然災害や異常気象などが起こり、温室効果ガス削減は待ったなしの状況です。このような中、県民せいきょうでは、創立45周年を迎え、「なっとく!コープ商品」や「エシカル消費」などコープ商品の普及や、「くらし応援全国キャンペーン」などの還元企画に取り組み、組合員のくらしを応援しました。宅配では利便性の向上を目的に、お届け明細書やOCR注文用紙の改善、COOPの宅配アプリやeフレンズの機能改善、COOP宅配はるえステーションをドライブスルー型にリニューアルしました。店舗ではハーツ学園の改装やあったかサポーターの拡大を行いました。くらしのサポート事業では、ベビー用品レンタルサービスの開始やドローンによる配送システムの実証実験を行いました。福祉事業では大野きらめきに認知症対応型グループホームを開設しました。再生可能エネルギー事業では、COOP黒河川水力発電所の工事着工、自家消費型太陽光発電設備をハーツ6店舗で行いました。能登の募金活動やちよボラの取り組み、小浜市との包括協定など行政や他団体との連携を実施し、組合員や地域のみなさまに寄り添い、社会と平和の安定の確保に助力しました。組合員のみなさまのご支援、ご協力に感謝申し上げます。

2024年度は、第10次中期計画の4年目として、「人と社会に思いやりのある生協を根付かせよう」をスローガンに掲げ、宅配事業ではCOOP宅配アプリの利便性向上、店舗事業では今秋のハーツ恐竜店福井駅東の出店や供給促進の見直し、くらしのサポートでは相談窓口サービスの研究、福祉事業では敦賀きらめきにサービス付き高齢者住宅の開設とケア・サービス・アイの事業統合に向けた準備、共済事業では出生前申込などニーズに応じた商品保障の拡大、再生可能エネルギー開発では自家消費太陽光発電設備の拡大や水力発電事業の準備を進めます。また、組織の好循環を目的に賃金のベースアップに取り組むとともに、クォータ制を導入し女性のキャリア形成を目的とした学習会や研修を行い女性管理職・役員への登用を進めます。組合員活動では「こーぶの子育て商品モニター」「こーぶのサークル」など若年層の参加拡大を進めます。引き続き当生協の資源や経験を社会のお役立ちのために活用していきます。

2024年度も「組合員の幸せと地域社会のために」役職員一同事業や活動に全力邁進する所存です。

目次

- 理念・ビジョン、県民せいきょう概要、2024年度 役員3
- 県民せいきょうの事業4
- 県民せいきょうのSDGs6
- 2023年度のできごと8
- 食の安全・安心の取り組み ～商品取り扱いの考え方～10
- 産直・地産地消 ～地域と進める商品作り～11
- エシカル消費 ～誰かの笑顔につながるお買物～12
- 組合員の声 ～組合員の声を生かす～14
- 宅配事業 ～おいしさに安心をプラスした商品を毎週お届け～15
- 店舗事業 ～コープ商品や地産商品・産直商品を豊富に品揃え～16
- 介護事業・高齢者福祉 ～あなたらしいいつまでも～17
- くらしのサポート ～食とくらしのお困りごとを支援～18
- 組合員活動 ～もっと広がれ組合員の輪～20
- 子育て支援・助け合い ～みんなが安心してくらせる地域づくり～22
- 地球温暖化対策・エネルギー対策 ～温室効果ガス削減計画～24
- 3Rの推進 ～循環型社会の構築に向けて～25
- 多様性を認め合う活力ある組織をめざして26
- サステナビリティに関する受賞・表彰28
- 地域へのお役立ち ～地域とのつながりを大切に安全・安心な地域づくりを応援～29
- 災害支援 BCP対策 ～つながろう CO・OPアクション～30

理念・ビジョン

第10次中期計画（2021年～2025年）

理 念

組合員の幸せと地域社会のために

2024年度スローガン

人と社会に思いやりのある生協を根付かせよう

使 命

食の安全とくらしの安心で組合員と地域へのお役立ち

めざす理想的な姿

「食と福祉と助け合い」の事業と活動と地域のネットワークによるシナジー効果を発揮し、「安全・安心のふくい」づくりに、組合員と職員、地域との協同の力で高い志を持って挑戦し続ける

大切にしたい組合員価値

「安全・安心」「参加・参画」「お役立ち」「安定した経営」

市町別組合員数と世帯加入率

県内世帯加入率が57.2%になりました。現在、福井市・坂井市・鯖江市・越前市・越前町・南越前町・敦賀市・小浜市・美浜町・若狭町・おおい町では、地域の過半数（2世帯に1世帯）の方が加入されています。

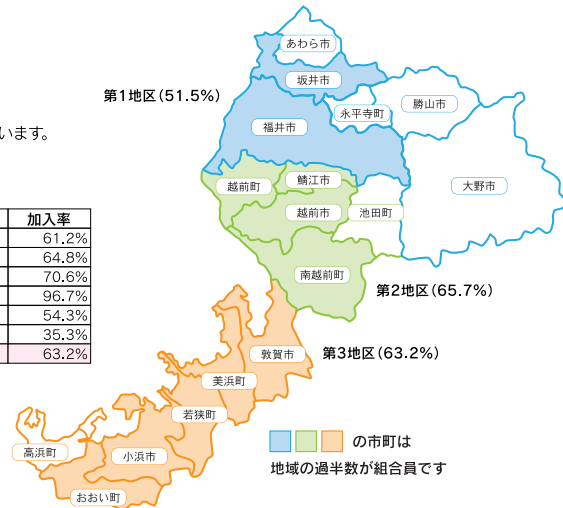
	組合員数	世帯数	加入率
福井県 全体	169,557人	296,585世帯	57.2%

	組合員数	世帯数	加入率
福井市	59,214人	106,896世帯	55.4%
あわら市	4,046人	10,059世帯	40.2%
坂井市	17,065人	32,132世帯	53.1%
大野市	3,824人	10,735世帯	35.6%
勝山市	2,636人	7,472世帯	35.3%
永平寺町	3,222人	7,448世帯	43.3%
第1地区計	90,007人	174,742世帯	51.5%

	組合員数	世帯数	加入率
敦賀市	17,092人	27,935世帯	61.2%
小浜市	7,897人	12,179世帯	64.8%
美浜町	2,588人	3,665世帯	70.6%
若狭町	4,609人	4,768世帯	96.7%
おおい町	1,705人	3,140世帯	54.3%
高浜町	1,571人	4,448世帯	35.3%
第3地区計	35,462人	56,135世帯	63.2%

	組合員数	世帯数	加入率
鯖江市	19,177人	24,737世帯	77.5%
越前市	17,417人	30,256世帯	57.6%
越前町	4,333人	6,611世帯	65.5%
池田町	437人	914世帯	47.8%
南越前町	1,820人	3,190世帯	57.1%
第2地区計	43,184人	65,708世帯	65.7%

※左記以外に県外在住の組合員が904人いらっしゃいます。
組合員数(人):2024年 3月31日現在
世帯数(世帯):2024年 4月1日現在



県民せいきょう概要

事業報告

■2023年度実績

	実 績	前 年 比
組合員数	169,557人	101.2%
出資金	100億7,401万円	100.4%
総事業高	266億2,824万円	100.8%
事業高	宅配事業※1	127億2,146万円 98.4%
	店舗事業	111億8,946万円 102.4%
	福祉事業	24億7,969万円 106.5%
	共済事業	2億3,762万円 98.0%
共済保有件数※2	69,622件	99.6%
経常剰余金	3億4,379万円	77.8%

1万円未満は切り捨てています。※1宅配事業の中には、葬祭事業の事業高も含めています。※2共済の保有件数は、たすけあい・あいがらす・ずつとあい・学生総合共済の合計です。

■2024年度計画

	計 画	前 年 比
組合員数	171,700人	101.3%
出資金	101億8,300万円	101.1%
総事業高	281億 300万円	105.5%
事業高	宅配事業※1	131億2,200万円 103.1%
	店舗事業	120億1,400万円 107.4%
	福祉事業	27億2,500万円 109.9%
	共済事業	2億4,200万円 101.8%
共済保有件数※2	70,100件	100.7%
経常剰余金	2億4,000万円	69.8%

2024年度 役員

		氏 名	備 考			氏 名	備 考
常 勤	理 事	代表理事 理事長	松宮 幹雄	非 常 勤	理 事	濱田 昭子	第1地区／坂井エリア
		代表理事 専務理事	檜原 弘樹			田中 弓恵	第1地区／坂井エリア
		常務理事	広辻 光生			森下 佳代子	第1地区／奥越エリア
		常勤理事	中川 政弘			野路 直美	第1地区／福井エリア
非 常 勤	理 事		野村 伸一		監 事	牧野 久美子	第1地区／福井エリア
			中川 敦士			神近 葉子	第1地区／福井エリア
			今村 善孝			海岸 元子	第2地区／丹南エリア
			南保 勝			内田 桃	第2地区／丹南エリア
			小林 正能			笹原 麻子	第3地区／敦賀エリア
			山本 道隆			佐竹 由稀	第3地区／若狭エリア
			岩佐 裕美			中山 哲弥	会計分野
			小林 一			志田 順子	第1地区／坂井・奥越エリア
			酒井 智吉			林田 喜久恵	第1地区／福井エリア
			松ヶ平 朝菜			岩坂 知美	第2地区／丹南エリア
			青木 浩一			松井 直美	第3地区／敦賀・若狭エリア

※2024年3月31日現在

県民せい きょうの事業

コープの宅配

コープの宅配

ご注文いただいた商品を週1回、決まった曜日に、ご自宅やご指定の場所にお届けします。安全・安心なコープ商品を中心とした生協こだわりの商品(食品・衣料・雑貨など)を豊富に品揃えし、福井県内全域の組合員にご利用いただいております。



Hearts

店舗 ハーツ

県内に11店舗ある「ハーツ」、健康長寿と家族団らんを応援するお店です。こだわりのコープ商品、地場や産直の生鮮品など安全・安心な品揃え。リサイクルステーションや、町内会の集まりなどにご利用いただける集客室など、地域に貢献できるお店をめざしています。



くらしのサポート

普段の買物や食事作りに困っている方のために県内19台の移動店舗「ハーツ便」が高齢化集落や中山間地、市街地でのお買物支援に、「ハーツのネットスーパーおつかいさん」では、ハーツの食品やお惣菜をご自宅までお届けします。他にもお買物バスや食事宅配など、毎日の食を支えます。



CO・OP共済

CO・OP共済は「組合員どうし困ったときは助け合いたい」という気持ちから生まれた保障です。組合員1人ひとりの力が集まって大きなすけあいの輪が広がっています。お手頃な掛金で、医療保障や一生涯安心の終身共済などニーズに合わせてお選びいただけます。



移動店舗
ハーツ便

レインボー
ファーム

健康づくり

お買物
バス

食事宅配

高齢者介護施設
きらめき

買物代行
ハーツの
ネットスーパー
おつかいさん

宅配サービス
コープの宅配

子育て支援施設
ハーツ
きっず

生協のお店
ハーツ

CO・OP共済



高齢者福祉 きらめき

いつまでも自分らしく、住み慣れた地域で安心して暮らしたい。そんな願いを応援する、せいきょうの高齢者介護サービス。県内に14拠点ある介護施設で、訪問介護やデイサービス、小規模多機能型居宅介護、グループホーム、サービス付高齢者向け住宅など、ご希望や状態に応じたサービスがご利用いただけます。



子育て支援 ハーツきっず

ご家族のみなさんが「自分らしく」「安心」して、笑顔で子育てできる環境づくりに取り組んでいます。通院時などに便利な一時預かり、ママ・パパ同士の交流も楽しい子育てひろば、入園前の準備として2歳児のプレ保育がご利用いただけます。県内6か所の施設に加え、ハーツきっず児童クラブを福井市内に3か所開設しています。



組織概要

■事業概要

宅配事業(配送センター:5 坂井センター、福井センター、丹南センター、敦賀センター、若狭センター)
店舗事業(店舗:11 ハーツはるえ、ハーツ羽水、ハーツ学園、ハーツ志比口、ハーツさばえ、ハーツ神中、ハーツたけふ、ハーツつるが、ハーツ三方五湖、ハーツわかさ、ファミリーマート+ハーツ河野北前船主通り(コンビニハーツ))
くらしのサポート事業(移動店舗:19 第1地区本部8台、第2地区本部5台、第3地区本部6台)
高齢者介護事業(介護事業所:14 金津きらめき、坂井きらめき、大野きらめき、勝山きらめき、岡保きらめき、羽水きらめき、宝永きらめき、江守きらめき、鯖江きらめき、丹南きらめき、敦賀きらめき、小浜きらめき、サテライトステーション(鮎川)きらめき、三方ヘルパーステーション)
子育て支援事業(子育て支援施設:9 ハーツきっずはるえ、ハーツきっず羽水、ハーツきっず学園、ハーツきっず志比口、ハーツきっずさばえ、ハーツきっずたけふ、ハーツきっず湊児童クラブ、ハーツきっず日之出児童クラブ、ハーツきっず啓蒙児童クラブ)

共済事業

■職員数

1,647名
(正規職員354名、定時職員679名
N職員109名、アルバイト職員505名)

■グループ会社

エルシーコープ株式会社
株式会社コープサービス福井
ふくいレインボーファーム株式会社
株式会社ケア・サービス・アイ
コンビニハーツ株式会社

■関係団体

日本生活協同組合連合会
日本コープ共済生活協同組合連合会
生活協同組合コープ北陸事業連合
福井県生活協同組合連合会
一般社団法人ほのぼのハーツ
社会福祉法人きらめき福祉会(きらめきの里 鯖江)
公益社団法人ふくい・くらしの研究所
福井虹の会
福井県産直協議会

※2024年3月31日現在

福井県民生活協同組合は

SDGs (持続可能な開発目標) の達成のための取り組みを推進していきます



県民せいきょうは、「組合員の幸せと地域社会のために」という基本理念のもと、健康長寿で安全・安心な福井づくりに、組合員と職員、地域との協力の力で取り組んできました。誰ひとり取り残さないというSDGsのめざす姿は、生協の理念と重なります。経済成長、社会的包摂、環境保護の3つの主要素を調和させながら、SDGsの17の目標を、県民せいきょうが取り組む事業や活動に重ね、持続可能な社会を福井の地で構築していくことをめざしていきます。



福井県民生活協同組合は、SDGsの達成に貢献することを宣言します

福井県民生協では福井県のふくいSDGsパートナーで宣言を行い、連携協働の取り組みで持続可能な地域社会づくりに向けて事業や活動を展開しています。

〈県民せいきょうの宣言内容〉

地域課題に向き合い、事業と活動を通して、将来にわたり誰もが安心してくらしのふくいづくりに寄与します

- 次世代を担う子どもたちの未来を応援します
- エシカル消費を推進します
- 地球温暖化防止と循環型社会の実現をめざします
- 地域で一番働きたいと思える職場をめざします



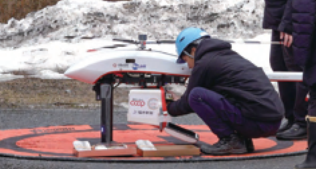
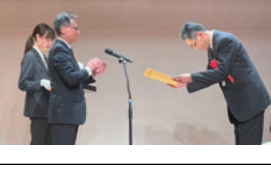
ハーツやきらめき、ハーツきっずなどでの職場体験や視察の受け入れ、SDGsに関する講師派遣など地域や全国からの要請を受けて取り組んでいます。



	23年度		22年度	
	回数	人数	回数	人数
生協	17回	96人	20回	151人
学校	41回	533人	30回	416人
行政	11回	117人	18回	295人
団体・企業	12回	248人	18回	300人
その他	1回	1人	3回	65人
合計	82回	995人	89回	1,227人

2023年度のできごと

	県民せいきょうのできごと		
4月	大野きらめきグループホーム事業開始 大野きらめきにグループホームを新規開設し、4月1日より事業を開始しました。 COOP黒河川水力発電所 着工 4月12日、敦賀市の「COOP黒河川水力発電所」の着工にあたり地鎮祭を執り行いました。2025年6月の運転開始をめざします。	 COOP黒河川水力発電所の地鎮祭  大野きらめき	
5月	春の地区総代会議 5月10日～19日、県内6会場にて264人の総代の皆さんに、地区本部活動のまとめと方針、地区委員の選任、また第45回通常総代会の議案を提案し、議案に対する理解を深めていただきました。 COOP宅配坂井センター稼働 坂井・あわらエリアの組合員対応のスピード力向上と地域密着を目的に、5月15日よりCOOPドライ物流センター(丸岡町)内に新たにCOOP宅配坂井センターを稼働しました。	 春の地区総代会議	
6月	第45回通常総代会 6月22日に福井市のフェニックス・プラザで、通常総代会を開催しました。会場での参加153人、書面議決書提出337人の計490人の出席で、2023年度事業計画など5議案全てが賛成多数で可決承認されました。 地域一体型 食と農の温室効果ガス削減運動に関する連携協定を締結 越前市、JA越前たけふ、越前市社協、県民生協の4者が地域一体となって、生産から流通、消費まで、食と農を通じた温室効果ガスの削減を行うための様々な施策を連携していくことを約束しました。	 第45回通常総代会	
7月	コープの宅配 カタログを見直し 環境配慮、経営改善を目的に、7月1日より「コープファミリー」や「ゆとろぎプラス」の紙質変更やページ数削減など見直しをすすめました。 ベビー用品レンタルサービスをスタート 7月より、子育て支援の一環としてチャイルドシートとジュニアシートのレンタルサービスをハーツ志比口でスタートしました。	 ベビー用品レンタルサービススタート  地域一体型 食と農の温室効果ガス削減運動に関する連携協定を締結	
8月	こーぶの学校 年中(5歳)から小学3年生までのお子さんと保護者を対象に、楽しみながら生協を知っていただくことを目的とした「こーぶの学校」を開校しました。親子59組115人が、体験企画(地区ごとに年間7～8回開催)を通して交流を図りました。 ハーツ6店舗に自家消費型太陽光発電設備を設置 これまでの太陽光発電と合わせて、店舗消費電力の10%分、一般家庭の約630世帯分に相当する電力を賄えるようになりました。	 こーぶの学校	
9月	くらし応援全国キャンペーン 9～11月、物価上昇によるくらしへの影響に対し、コープの宅配126品目、ハーツ100品目を値下げする「くらし応援企画」に取り組みました。 コープの宅配はるえステーションがドライブスルー型にリニューアル 9月4日、コープの宅配はるえステーションが、屋根付きのドライブスルー型にリニューアルしました。 小浜市と包括連携協定を締結 9月5日、小浜市と「包括連携協定」を締結しました。SDGsやエシカル消費の推進、脱炭素社会の実現など連携を取りながら、より地域に根ざした活動をすすめます。 県民生協創立45周年 9月16日、県民生協は創立45周年を迎えました。コープの宅配やハーツで記念セールのほか、職員企画として記念旅行を実施しました。	 コープの宅配はるえステーション  小浜市と「包括連携協定」を締結	

	県民せいきょうのできごと		
10月	ハーツ営業時間一部変更 10月2日より、SDGsの観点から、はるえ・羽水・さばえ・神中・わかさの営業時間を短縮しました。 第5回認知症フォーラム 10月14日、福井県と連携して「認知症フレンドリー社会 in 福井」を開催。認知症の正しい理解と偏見のない社会の実現に向けて、オンライン117人を含む250人が参加し、一緒に考えました。	松宮理事長 厚生労働大臣表彰を受賞 10月23日、長年にわたり組合員・地域住民のくらし改善・向上のために、地域社会との調和に努め事業を主導し、健全な経営を行ってきたことが評価され、厚生労働大臣表彰を受賞しました。	 認知症フレンドリー社会 in 福井  松宮理事長 厚生労働大臣表彰を受賞
11月	秋の地区総代会議 県内6会場で地区総代会議を開催しました。2023年度上期の振り返りと下期方針の提案や、コープ商品の学習会を開催しました。 ハーツ学園 リニューアル 15周年を迎えたハーツ学園が11月30日、リニューアルオープン。省エネ型冷蔵・冷凍ケースへの入れ替えや直営売り場の拡大、品揃えの見直しを行いました。	敦賀きらめき新規施設地鎮祭 11月23日、敦賀で初めてのサービス付き高齢者向け住宅(平屋15室)の地鎮祭を執り行いました。2024年7月オープン予定。	 ハーツ学園 リニューアルオープン
12月	県内大学生への食料支援 福井県協同組合連携事業として、JAや漁連、生協連と一緒に、物価高で困窮している県内5大学540人の学生に米や缶詰、カップ麺など7点の食料品をプレゼントしました。 福井県フードバンク活動交流会 福井県フードバンク連絡会(事務局:県民生協)は、顔の見える関係づくりを促進するために、こども食堂ネットワークふくいと交流会を開催しました。 ドローン実証実験 12月19日、南越前町にてラストワンマイル実現に向けて、ドローンを使った食料品等輸送の実証実験を実施しました。	ハーツ恐竜店 福井駅東 地鎮祭 12月13日、11号店となる「ハーツ恐竜店 福井駅東」の地鎮祭を、建設予定地である福井市日之出において執り行いました。2024年秋オープン予定。	 ドローン実証実験  県内大学生への食料支援
1月	令和6年能登半島地震 支援 「令和6年能登半島地震」を受けて、1月3日より緊急支援募金活動に取り組み、組合員、役職員から2,354万円の善意が寄せられました。また、福井県からの要請を受け、1月5日、缶詰などの食料3,240個を石川県珠洲市へ送りました。さらに1月8日よりコープいしかわの宅配業務支援、共済加入者への訪問活動、1.5次避難所への支援として職員を派遣しました。		
2月	令和6年能登半島地震 募金を贈呈 日本赤十字社福井県支部と福井県共同募金会に各1,000万円を贈りました。 能登半島支援のための石川県応援消費プロジェクト 2月24日、ハーツでは能登半島地震により大きな被害を受けた取引先の在庫や石川県産の商品を販売し、応援消費プロジェクトに取り組みました。 ベビー用品レンタルサービス県内全域に拡大 チャイルドシート・ジュニアシートのレンタルを県内全域に拡大しました。 オリジナル防災セット 福井新聞社との共同企画で県民、組合員の防災に対する意識向上に向け、オリジナル防災セットを企画し広報しました。	令和6年能登半島地震 募金の贈呈 	令和6年能登半島地震 募金活動 
3月	福井県カーボンニュートラル推進企業表彰受賞 3月25日、2050年温室効果ガス排出実質ゼロ(カーボンニュートラル)に向けた取り組みを行っている企業として、福井県より「省エネ・再エネ部門賞」を受賞しました。	福井県カーボンニュートラル推進企業表彰受賞 	

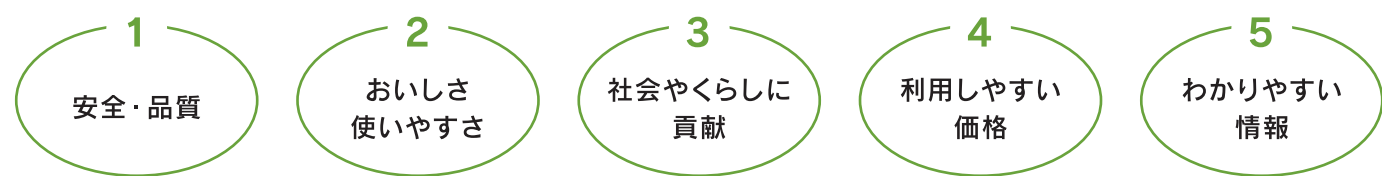
食の安全・安心の取り組み

商品取り扱いの考え方



■ 想いをかたちに コープ商品

信頼されるコープ商品であり続けるために、5つの約束を果たし、想いをかたちにしていきます。



このマークの
商品が目印です

co-op 日本生協連が
開発したコープ商品

Hearts 県民せいきようが
開発したオリジナル商品

coop コープ北陸が
開発したコープ商品

coop KOBÉ コープこうべが
開発したコープ商品

■ 生協の食品添加物基準

コープの宅配・ハーツで取り扱う商品は、仕様書を確認し、県民せいきようの食品添加物基準にあった商品のみを提供しています。

① 基本的考え方

「不必要な添加物や有害な添加物を使用しない」を基本に、使用する場合でも「安全性」「必要性」「有用性」を十分に考慮し、必要最小限の使用にとどめます。

② 自主使用基準 (2024年4月現在)

日本生協連の安全性評価の結果に基づき、国が認めた食品添加物のうち、何らかの制限を加える必要があると判断したものを「管理添加物」としています。

1	「不使用添加物」 10品目	「安全性を量的に判断する科学的根拠がない物質」及び「遺伝毒性発ガン物質と考えられる品目」で、県民せいきようで取り扱う商品には使用しません。 ※医薬品・医薬部外品は除きます。市場流通品で日常的に使用頻度が低く、代替が困難な商品は除きます。
2	「使用制限添加物」 42品目	「安全性を量的に判断できる科学的根拠はあるが、懸念すべき問題がある物質」のことで、コープ商品(日本生協連・コープ北陸・県民せいきよう)には使用しないことを基本に、代替ができない原料・商品については取り扱いを行います。一般商品については仕様書にて使用状況が把握、情報提供ができる状態であれば取り扱いを行います。

■ 安全確認業務(商品検査)

組合員に安心して商品をご利用いただくために、コープの宅配の新規商品やハーツ店内加工商品を中心に微生物検査、産直農産物を中心とした残留農薬検査を実施し、取り扱い商品の安全確認を行っています。

項目	23年度実績	22年度実績	前年比
商品検査数	7,930件	8,537件	92.9%
工場点検数	32件	77件	41.6%

■ 2023年度検査数

	検査数	主な検査商品
微生物検査	年間 7,761品	・ハーツ店内加工の惣菜・畜産・水産商品 ・コープの宅配の新規取り扱い商品など
残留農薬検査等	年間 169品	・福井県産直協議会生産者の農作物など

■ HACCPに沿った取り組み

原材料から製品、食事ができあがるまでの間の食品の安全を確保するための基準を定め、基準通り製造されているかを確認・記録することで、食中毒や異物混入を未然に防止します。

ハーツ、ハーツ生鮮加工センター、食品加工センター、きらめきにおいてHACCPに沿った衛生手法に取り組み、衛生管理レベルの向上に取り組んでいます。

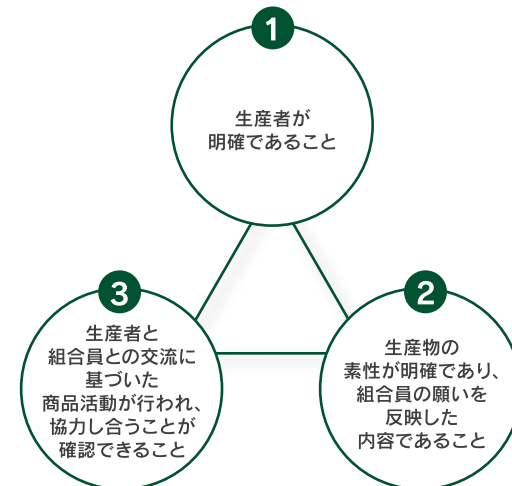


産直・地産地消

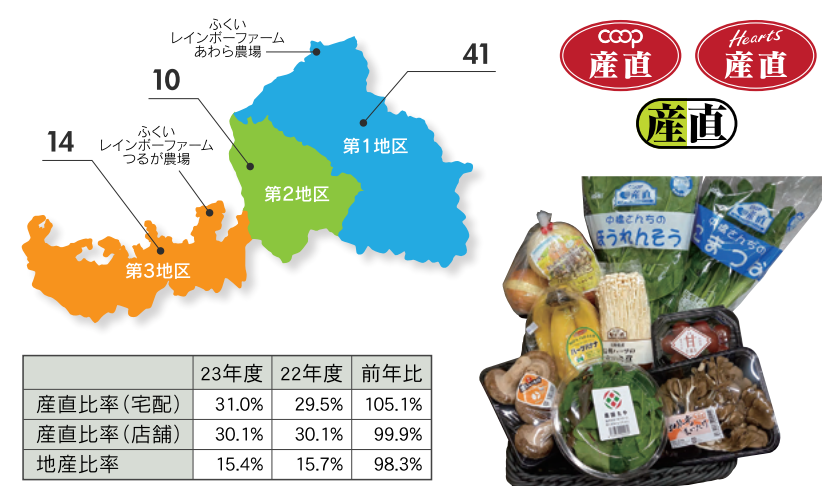
地域と進める商品作り



■ 県民せいきようの産直三原則



産直生産者・団体数 (福井県:65) (県外:23)



■ 適正農業規範による産地点検

適正農業規範(県民せいきよう版GAP)に基づき、生産者と生協が一緒に年1回点検を行い、農産物の生産から流通の品質や安全性を高めています。

- 5つのめざすもの
- ①法令遵守と産直活動の理解
 - ②農産物の安全性確保
 - ③農産物のトレーサビリティ、および適正表示の確保
 - ④環境保全型農業の推進
 - ⑤農業者の安全と健康の確保

■ 産直協議会の産直交流

産直協議会では、産地見学や出前講座などを通して、生産者と組合員の交流を積極的に行っています。2023年度は県内の産地をバスツアーで訪問する見学会や学習会、オンライン産地見学会などを開催し、産地の状況や生産者の想いを発信しました。各地域の生産者の声やこだわり、苦労など、生の声を聞くことで商品のファンになり、生産者の顔が見える関係づくりにつながっています。



あわら農業ファーム
スマート農業体験(第1地区)



丹生寺坂農園
みそづくり教室(第2地区)



やさいのほらね
ぶどう狩り体験(第3地区)



昇竜
オンライン産直産地見学会

■ ふくいレインボーファーム

つくる、つなぐ、まなぶを通じて福井の元気づくりに貢献

安全・安心で新鮮な農産物を提供することを目的とし、2016年1月に設立した生協農場です。地域と連携を図りながら、県内の農業活性化をめざし、地産地消推進や耕作放棄地解消などに取り組んでいます。あわら市で露地園芸、敦賀市で米づくり、施設園芸、みかん栽培を行っています。



■ 食品加工センター

2018年4月より、JA福井県経済連と連携して、福井県産の農作物を使用した惣菜や弁当の製造を行う食品加工センターを稼働しました。

食品加工センターでは、野菜の加工や食材セット「パパッとCOOK」、食事宅配の弁当、ハーツの惣菜、福祉施設の食事などを製造しています。HACCPに沿った衛生管理を徹底しており、原料受け入れから商品出荷までの各工程で、食中毒などの危害を未然に防止する取り組みを行っています。



エシカル消費

誰かの笑顔につながるお買物

生協では、「地域」「環境」「社会」「人々」に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買物」と表現して、積極的に応援しています。
6月と10月をエシカル消費月間と位置づけ、誰かの笑顔につながるお買物を推進しています。



■春エシカル消費月間（環境月間）実績

	宅配			店舗			全体		
	23年実績	22年実績	前年比	23年実績	22年実績	前年比	23年実績	22年実績	前年比
森のエシカル(FSC® 認証)	6,142	7,405	82.9%	3,365	1,987	169.4%	9,507	9,392	101.2%
海のエシカル(MSC認証)	943	1,315	71.7%	991	578	171.5%	1,934	1,893	102.2%
プラスチック問題のエシカル	5,597	5,089	110.0%	686	449	152.7%	6,283	5,538	113.5%
産地と生産者を応援するエシカル	3,135	2,439	128.5%	1,046	651	160.6%	4,181	3,091	135.3%
その他エシカル(1人1人が輝けるエシカル)	4,811	7,468	64.4%	743	484	153.5%	5,554	7,952	69.8%
対象商品合計供給高	20,628	23,715	87.0%	6,831	4,150	164.6%	27,459	27,865	98.5%

単位(千円)

6月エシカル消費「環境」月間

森の恵みを未来に残す

FSC®認証は、適切に管理された認証林やその他責任を持って調達された原材料で作られた製品に、FSC®認証ラベルをつけて消費者に届ける仕組みです。



FSC®認証



森林の自然環境を守り働く人を応援する

レインフォレスト・アライアンス認証は、より持続可能な農業に取り組む認証農園産の原料やその製品であることを意味します。



レインフォレスト・アライアンス認証



海のエシカル消費「環境」月間

海の資源を枯渇させないよう、漁獲量や漁法・漁の時期・生態系などに配慮した漁業で獲れた水産製品です。



MSC認証



「持続可能なパーム油」をめざして

パーム油原料のアブラヤシ産地で生じている様々な問題の解決をめざすRSPO認証を受けたパーム油の使用を積極的に進めています。適切に管理されたパーム油で作られた製品につけられます。



3-0098-17-100-00

RSPO認証



■ コープ商品に生まれ変わるペットボトル

2023年4月よりハーツにリサイクルとして集められたペットボトルは、100%コープ商品の包装の原料として活用されるようになりました。
ハーツで回収したペットボトルは、坂井市にあるエコセンターに集め、約1tの塊に一次加工されます。その後、再生樹脂処理工場、フィルム製造工場、包装製造工場、メーカーにて商品製造が行われ、再びコープの宅配やハーツで商品としてご利用いただけます。



▲再生PET素材から包材がつくられているコープ商品



■ 10月エシカル消費「社会貢献」月間

ピンクリボン運動

認定NPO法人J. POSH(日本乳がんピンクリボン運動)は全ての人に乳がん検査の必要性を啓発する団体です。コープ化粧品1品につき1円を日本乳がんピンクリボン運動として寄付しました。



協賛：コープ化粧品



2023年度(2023年9月1日～10月20日)
全国の生協の寄付金総額 1,091,679円

CO・OP×レッドカップキャンペーン

対象商品1点お買い上げいただくごとに1円が、国連WFPを通じて支援先の子どもたちに学校給食を届けるために使われます。

2020年度からはミャンマー連邦共和国に支援を行っています。児童の栄養改善、就学率、出席率の向上及び自立した学校給食運営のための人材育成を目標とします。



2023年度(2023年10月1日～11月10日)
全国の生協の寄付金総額 6,397,244円

障害者ノルディックスキー応援キャンペーン

対象商品を1点お買い上げいただくごとに1円が、特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟ノルディックスキーチームの次世代を担うジュニアチームに寄付されます。



2023年3月21日～2024年3月20日
全国の生協での寄付金総額 435,782円



CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト

CO・OPコアノンロールシリーズ1パックの利用につき1円を、ユニセフを通じてアンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校づくり」に寄付をしています。教師を育成したり、安全な水の整備やトイレの設置を行っています。



2022年11月1日～2023年10月31日
全国キャンペーンで集まった寄付金総額 15,203,160円

組合員の声

組合員の声を生かす

組合員の声は生協の財産です。組合員や地域社会との積極的なコミュニケーションを図り、組合員からの声を毎日の業務に生かしています。組合員の声は、コールセンターで一元管理し、業務の点検と見直し、改善を行い、業務に反映しています。2023年度は240,248件の声が集まりました。



宅配事業

おいしさに安心をプラスした商品を毎週お届け



コープの宅配

食料品や雑貨品、各種サービスやくらしに役立つ情報を、毎週の配送を通して担当者がお届けします。

COOP宅配坂井センター稼働、ドライブスルー型の宅配ステーションの設置など利便性の向上を行いました。

●宅配事業高 12,721(百万円)

●家計シェア 6.8%



チャネル別	23年度実績	22年度実績	前年比
コールセンター	205,480件	136,707件	150.3%
ひとことめも	14,197件	8,456件	167.9%
ハーツ私のこえ	1,529件	1,047件	146.0%
ハーツアプリ	218件	145件	150.3%
宅配アプリ	635件	1,108件	57.3%
共済アンケート	1,076件	891件	120.8%
介護利用者の声	1,995件	1,564件	127.6%
子育て利用者の声	1,776件	2,447件	72.6%
地区・事業委員会の声	2,440件	2,048件	119.1%
総代通信おたより	224件	318件	70.4%
機関紙おたより	230件	160件	143.8%
その他	10,448件	4,630件	225.7%
合計	240,248件	159,521件	150.6%

声の性質別	23年度実績	22年度実績	前年比
商品品質お申し出	5,529件	3,107件	178.0%
接遇他お申し出	8,430件	5,180件	162.7%
良い声	16,657件	11,851件	140.6%
企画・品揃え要望	1,715件	1,075件	159.5%
意見要望	6,161件	4,609件	133.7%
問い合わせ	137,615件	87,620件	157.1%
地域の声	315件	217件	145.2%
その他	63,826件	45,862件	139.2%
合計	240,248件	159,521件	150.6%

商品品質お申し出発生率	23年度実績	22年度実績	前年比
宅配全体	91ppm	87ppm	104.6%
宅配農産	463ppm	506ppm	91.5%
店舗全体	12ppm	13ppm	92.3%
店舗農産	51ppm	54ppm	94.4%

※ppm…100万分の1

地区総代会議、総代通信

組合員の代表である総代を対象に、年2回の地区総代会議を開催し、事業や日頃の生協に対する声を聞き、方針に反映させています。総代には年2回アンケートを行い、重点方針の理解度や進捗に対する評価を受けています。



2023年度よせられた組合員の声

- ・宅配…少量規格の要望、カタログ削減・お届け表の改善、eフレンズ・宅配アプリ(利便性向上・学習会)・注文書の紙質変更について なっとく!コープ商品の普及
- ・店舗…ハーツ恐竜店 福井駅東への期待、営業時間について、もったいない野菜市について、ポイントの使い方について、ハーツのチラシ・アプリについて
- ・くらしのサポート…ハーツ便・ハーツのネットスーパーおつかいさん ベビー用品レンタルについて、くらしの相談業務への期待
- ・高齢者介護…きらめきへの感謝、施設開所への期待、きらめき保健室について
- ・SDGs…食品ロス削減への取り組み評価、脱プラなどの環境問題 フードバンク・フードドライブの拡大、小水力発電への期待
- ・組合員活動・広報…SNS取り組み推進、生産者との交流、土日イベント 企画の拡大、オンライン講座への期待 こーぶの学校など若年層企画の継続
- ・その他…北陸新幹線 福井延伸に伴う地域商品の開発や取り扱いの強化 地震への備えや対策について

COOP宅配坂井センター稼働

坂井・あわらエリアの組合員応対のスピード力向上と地域密着を目的に、23年5月よりCOOPドライ物流センター(丸岡町)内に新たにCOOP宅配坂井センターを稼働しました。



宅配ステーションの拡充

坂井エリアではハーツはるえドライブスルー型ステーションを開設しました。今後も組合員の利便性向上をめざして、様々な宅配スタイルにチャレンジします。

ハーツはるえ
ドライブスルー型
ステーション▶



注文時の利便性向上

7月より環境配慮を目的に一部カタログの紙質の変更を行いました。また、eフレンズ・宅配アプリ利用者に対して「OCR注文用紙」の停止の呼びかけやアプリのお知らせ機能(プッシュ通知やポップアップバナー)を用いてDMチラシなどの紙の削減を行いました。eフレンズでは「注文確認一覧画面」や金額・ポイント表示の改善や番号注文時のアレルギー警告表示を実現し、利便性の向上につながりました。



なっとく!コープ商品

「知らないなんてもったいない」をコンセプトに全国の組合員がおすすめする魅力ある商品を「なっとく!コープ商品」として推進しました。結果対象商品の前年比130%を超える実績となり多くの方からご利用いただきました。

「なっとく!コープ商品」は
右のマークが目印です▶



店舗事業

コープ商品や地産商品・産直商品を豊富に品揃え

Hearts(ハーツ)

Hearts(ハーツ)は、Health(健康)、Ecology&earth(環境と地球)、Amenity(快適)、Relief(安心)、Trust(信頼)、Symbiosis(共生)の意味が込められた生協のお店です。24年秋に11号店(ハーツ恐竜店 福井駅東)がオープン予定です。

- 店舗事業高 11,189(百万円)
- 家計シェア 7.9%



介護事業・高齢者福祉

あなたらしさいつまでも



「あなたらしさいつまでも」を福祉理念とし、高齢になっても住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らし続けられるように、介護保険サービスやさまざまな啓発活動・まちづくり活動を行っています。



5つの基本業務

ハーツでは、来店されたすべての方に満足いただけるように5つの重要な基本業務を意識して取り組みを行っています。

- ・清潔な売場
- ・明るく元気な挨拶
- ・品切れのない売場
- ・鮮度と味の追求
- ・毎日の献立紹介

ハーツアプリ

2020年12月に誕生したハーツアプリは、デジタルカードになり、チラシや予約注文の申し込み、お得なクーポンの配信など便利でお得なアプリです。ハーツのネットスーパーおつかいさんへのリンクや、最新情報の発信、レジでは二次元コード決済がスムーズにできます。2024年3月までに4.7万人の方がダウンロードしています。



あったかサポーター配置

全店で「あったかサポーター」と称し、組合員への困りごとやお問い合わせに対し、真摯に対応するスタッフを配置しています。生協全般に関する事や商品のお問い合わせ、ハーツアプリに関する事など丁寧に対応します。



野菜売場 早めの売り切りコーナー設置(鮮度の追求)

23年度全店舗で一部野菜の早めの売り切りコーナーを設置しました。季節に応じて、レタスやトマトなど鮮度管理を重視する商品を選定し、早めの値引で販売しています。



スローショッピング「ゆっくりレジ」導入

「自分のペースでゆっくりお会計を♪」
組合員が後ろを気にせず、自分のペースで財布の中の小銭を探したり、レジ職員が高齢化社会に対応できるような温かい対応ができるようにゆっくりレジを導入しました。2021年から導入し、徐々に時間帯を拡大し現在は、毎日フルタイム稼働しています。



きらめきの各介護サービス

サービス内容	施設数	サービス内容	施設数
居宅介護支援	6拠点	特定施設入居者生活介護(ケア付き有料老人ホーム)	2拠点
デイサービス	6拠点	サービス付き高齢者向け住宅(有料老人ホーム)	4拠点
認知症対応型デイサービス	6拠点	福祉用具(レンタル・販売)・補聴器	14拠点
ホームヘルプサービス	9拠点	地域包括支援センター(越前市)	1拠点
小規模多機能型居宅介護	10拠点	介護タクシー	1拠点
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1拠点	障がい福祉サービス(居宅介護・重度訪問介護)	2拠点
認知症対応型グループホーム	6拠点		

※2023年11月敦賀きらめきでサービス付き
高齢者向け住宅(平屋15室)の地鎮祭を執行了いました。(2024年4月現在)

生協10の基本ケア

ご利用者自身による自分らしいくらしの継続や生涯現役をサポートするため、きらめきでは、ご利用者の気持ちやケア指針10項目に沿って、環境整備や心身機能維持向上、社会参加などのお手伝いを行っています。病気や筋力・体力の低下にならない環境を整え、人の自然な動きを基本とした動作支援で、日常生活の行為が生活リハビリになるようサポートしています。

生協10の基本ケアとは

①換気をする

病気や心身機能低下にならない環境づくりをサポート

②床に足をつけて座る

足を使った起居動作を習慣として身体づくりをサポート

③トイレに座る

トイレで排泄を継続するのは尊厳の基本として排泄サポート

④あたたかい食事をする

調理や盛付けを行い親しい方と楽しい食事のサポート

⑤家庭浴に入る

生活リハビリの効果から家庭浴の湯船につかる習慣をサポート

⑥座って会話をする

座って時間を共に過ごし、本人のペースの安心感をサポート

⑦町内にお出かけをする

地域に出かけ社会性や精神的な豊かさを保つことをサポート

⑧夢中になれることをする

好きなことに夢中になれる機会や居場所づくりをサポート

⑨ケア会議をする

社会性ある豊かなくらしを、本人や家族と話合うサポート

⑩ターミナルケアをする

人生の最終段階まで本人らしく過ごすことをサポート

大野きらめきグループホーム開所

2023年4月に大野きらめき既存施設の北側に認知症対応型グループホームがオープンしました。「みんなが主役の自分らしい暮らしの実現」をめざし、地域の方との交流にも力を入れています。入居者のみなさんに、地域住民の一員としていきいきと過ごしていただきたいと思っています。



「認知症フォーラム」 「おとなの健康大学」開催

認知症にやさしいまちづくりの推進として、福井県と連携し「認知症フォーラム」や「おとなの健康大学」を開催しました。



くらしのサポート

食とくらしのお困りごとを支援

普段の買物や食事作りに困っている方のために、移動店舗「ハーツ便」、食事宅配、買物代行「ハーツのネットスーパーおつかいさん」で食品やお弁当をお届けします。

■ ハーツのネットスーパーおつかいさん

2022年10月より新サービス「ハーツのネットスーパーおつかいさん」がスタートしました。最短即日配送やスマホやタブレットから注文ができるようにするなど、サービスをさらに充実しました。

	23年度	22年度	前年比
おつかいさんのべ利用人数	21,335人	17,239人	123.8%

■ 移動店舗「ハーツ便」

中山間地を中心に、買物に不自由をきたしている方の支援として定期巡回しています(肉・魚・野菜などの生鮮品のほか、パンや惣菜など約500～800品目を品揃え)。高齢者の見守り、コミュニティの場づくりとしての役割も果たしています。移動店舗は全体で19台となり、県内各地のハーツを拠点に商品をお届けしています。



	Ⅱ型車	Ⅰ型車	合計
ハーツ便2023年度末導入実績	8台	11台	19台

※Ⅱ型車旧中型車、Ⅰ型車旧小型車

	23年度	22年度	前年比
ハーツ便停留所数	1,150箇所	1,034箇所	111.2%



■ お買物バス

買物に行きたいけど手段がない方をご自宅から最寄りのハーツまで、無料で送迎するお買物バスを運行しています。ハーツ各店では、週1回ご自宅からハーツまで決まった時間に無料で送迎しています。全ての店舗でお買物バスを運行しています。



	23年度	22年度	前年比
お買物バス台数	12台	12台	100.0%
お買物バス利用人数	43,954人	43,086人	102.0%

■ コープのベビー用品レンタル

2023年7月より、組合員より要望の高かったベビー用品(チャイルドシート、ジュニアシート)のレンタルサービスをハーツ志比口でスタートしました。2024年2月からは県内全域にエリア拡大し県内全域でのサービスに拡大しました。帰省や里帰り出産など一時的な利用をされる方を中心にご好評いただきました。



■ 食事宅配(昼食・夕食コース)、介護食・医療食

家庭的なバランスを考えた日替わりの食事をご自宅までお届けします。かむ力・飲み込む力が弱い方や食事制限が必要な方には介護食・医療食でお応えています。食事宅配と一緒にサイドメニューのお届けもしています。

	23年度	22年度	前年比
食事宅配食数(週平均)	11,230食	10,293食	109.1%
介護食・医療食食数(週平均)	2,416食	2,423食	99.7%



■ きらめきくらしのサポート

きらめきくらしのサポートでのサービスは専門的な介護や看護ではなく、お掃除や食事作り、病院の付き添い、産前産後のお手伝いなどのちょっとしたお困りごとを支援する有償の家事援助サービスです。きらめきくらしのサポートを通して地域に温かな助け合いの心と助け合いの輪を広げています。

	23年度	22年度	前年比
総活動時間	7,079h	8,082h	87.6%
活動回数	4,813回	5,342回	90.1%
のべ利用人数	1,087人	1,221人	89.0%



GBER

2021年度より福井県の受託事業として、福井市で「地域活動マッチングアプリ」GBER(Gathering Brisk Elderly in the Region:地域の元気なシニアを集めるの略)をスタートしました。2022年度より坂井エリア、丹南エリアでもスタートしました。



■ 生協葬祭 みれい

真心・協心・安心

生協葬祭「みれい」は、ご利用される方にご満足いただけるよう、安心感の高いお世話をさせていただきます。2020年度より生前遺品整理サービスをスタートしました。

	23年度	22年度	前年比
みれいの会会員数	3,132人	3,101人	101.0%
葬儀年間施行件数	102件	99件	103.0%
葬祭事業シェア率	0.97%	0.92%	105.4%



■ コープのペット葬

2022年度より「コープのペット葬」をスタートしました。コープのペット葬オリジナル価格でサービスを提供いたします。お式後の供養の相談や事前相談にも親身にお応えします。大切な家族の旅立ちを、心安らかにお見送りできるように、気持ちに寄り添いお手伝いします。



組合員活動

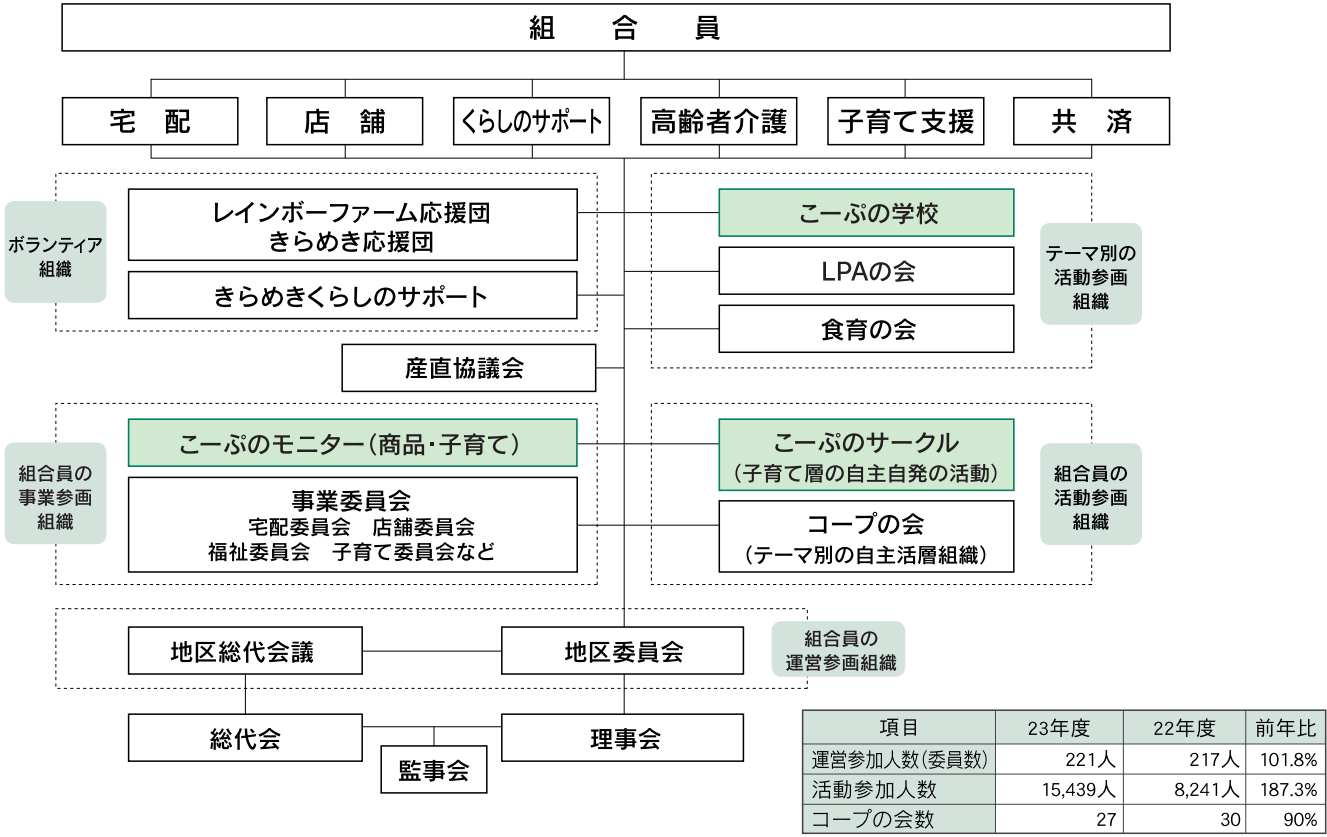
もっと広げれ組合員の輪

県民せいきょうの組合員活動のありたい姿

- ①一人では実現できない願いをみんなで実現する
(自主自発の活動)
- ②生協の商品やサービスの良さを学び合い、広げていくことで
生協ファンを増やす
(事業を支える活動)
- ③地域の課題を地域のみなさんと一緒に解決していく活動
(地域と一緒に進める活動)



組合員活動組織



◀奥越宅配委員会
～トマトチーズ
ケーキづくり～



◀コープの会
福井エリア
ぐるぐるの会
～しめ縄づくり～



◀ハーツつるが店舗
委員会
～築野食品こめ油
出前学習会～



◀コープの会
若狭エリア
お茶とお話の会
～備蓄食の乾物を使って
保存食と乾物料理づくり～



◀LPAの会
～子育てママの
ための防災講座～



◀第2地区
産直協議会
～有機田んぼの
生き物ホタル
観察会～

こーぷの学校

22年度は第1地区のみ開講した「こーぷの学校」を23年度より第2地区、第3地区でも開校しました。親子で楽しみながら生協について知っていただけるよう、各地区ごとに毎回工夫を凝らした企画が開催されました。



▲8/19 第3地区(敦賀)入学式



▲10/7 第1地区
新米でおいごりを作ろう

ひろみちお兄さんの体操教室

22年度福井エリアで大好評だった「ひろみちお兄さんと親子体操」を23年度は会場を福井会場、丹南会場、嶺南会場と増やして開催しました。当日はたくさんの親子の方が参加いただき、お子様だけでなくパパママも楽しんで参加いただきました。



▲9/2 第3地区



▲9/3 第2地区

おしごとキッズ

食べることの大切さや働く喜びを学ぶことを目的とした職業体験を、ハーツ全店で開催しました。品出しや、レジ、店内放送などを体験しました。



こーぷの子育て商品モニター・おうちで試食会の開催

子育て中の組合員を対象とした「こーぷの子育て商品モニター」を開催しました。年4回のコープ商品の試食とオンライン学習会の参加、年1回のわいわいるん交流会に参加していただきました。自宅からでも参加できる「こーぷの子育て商品モニター」では、オンラインで様々な子育て層の声を聞くことができ、生協参加の入口のひとつのカタチとなりました。また、子育て層以外の方も自宅から参加できる「おうちで試食会」を開催し、リアルとオンラインでの新たな組合員活動を行いました。



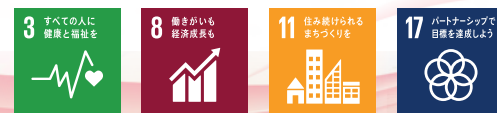
市民活動助成金制度

市民活動助成金制度は、県内の地域に役立つ活動に取り組む市民団体やグループの活動を資金面で支援する制度です。2006年度より行っており、今回で19回目となります。2024年度は21団体からの申請を受け社会貢献基金運営委員会での評価の結果、16団体に対して総額99万円を4月上旬に地区委員会にて助成しました。

活動エリア	団 体 名	活動分野	活動エリア	団 体 名	活動分野
奥越	四葉のクローバー会	子育て支援	県内全域(丹南)	おもしろ環境実験隊	環境
福井・奥越	学生団体Together	子育て支援	県内全域(丹南)	オカリナサークルしろたんズ	その他社会貢献
福井	だれでも食堂「夕焼けこやけ」	子育て支援	敦賀	ふあみふえす@つるが実行委員会	子育て支援
福井	明新公園をきれいにする会	その他社会貢献	敦賀	Team Clean Blue	環境
福井	福井県寿司商生活衛生同業組合	食育	敦賀	こども食堂めぐの家	子育て支援
県内全域(坂井)	わくにご実行委員会	環境	敦賀	元気食堂	福祉
福井	面会交流支援センター	子育て支援	敦賀	復興敦賀音頭を育む会	その他社会貢献
丹南	オレンジカフェ カナリア	福祉	若狭・敦賀	嶺南オーガニックProjectれおのわ	食育

子育て支援・助け合い

みんなが安心してらせる地域づくり



福井でくらす子どもや、ママ・パパが安心してサービスを利用いただけるよう、コープの宅配、ハーツ、ハーツきっずで取り組んでいます。ハーツきっずでは、パパへの支援の取り組みとして「お父さんと遊ぼう」の企画も行っています。

■ 子育て支援 ハーツきっず

妊娠中から切れ目なくお母さん、お父さんの子育てを応援しています。ご家族のみなさんが「自分らしく」「安心して」子育てできる環境づくりに取り組み親子交流の場である子育てひろば、一時預かり、2歳児を対象としたプレ保育、放課後児童健全育成事業（児童クラブ）を行っています。

- ハーツきっず 6施設
- ハーツきっず 児童クラブ 3施設



■ コープの宅配 すくすく便

小学校就学前のお子さまがいらっしゃる組合員や妊娠中の組合員、ふく育プレミアムパスポートをお持ちの組合員は通常165円(税込)の個配手数料が55円(税込)になります。

- 登録人数 9,852人

■ ハーツ・ふく育応援

18歳未満のお子さまがいらっしゃる組合員や、妊娠中の組合員は毎週水曜日ポイント3倍(5倍)になります。(ハーツアプリ登録・福井県のふく育パスポート取得が必要)
※パスポートの種類により、倍率が異なります。

- ハーツ・ふく育応援登録人数 11,600人

■ CO・OP共済

CO・OP共済は加入者の声を集め
今後の商品開発に反映していくよう努めています。
2023年度は《たすけあい》に加入できる加入条件を改善し緩和しました。

相互の助け合い、くらしの中の危険による損失を保障することを中心に、くらしの向上に役立ち、豊かな社会づくりの貢献をめざしています。ハーツの共済カウンターは気軽に立ち寄れ、落ち着いて相談できるカウンターとなっています。

項目	23年度実績	22年度実績	前年比
共済保有件数	69,622件	69,890件	99.6%
共済加入率	21.2%	21.5%	98.6%



★『共済年鑑2024年版』より。
★各共済によって、子ども向け保障商品の加入年齢・満期年齢・保障内容等は異なります。《たすけあい》ジュニアコースは、加入年齢0歳～満19歳・満30歳満期の商品です。他の共済ではジュニアコースよりも加入年齢・満期年齢が低い商品があります。



2023年度JCSI(日本版顧客満足度指数) 調査結果 生命保険部門

■ はじめてばこの取り組み

福井に生まれた赤ちゃんの明るい未来を祝福しようと、福井テレビ子育て応援プロジェクトに協賛し、ふるさと福井をイメージしたプレゼントをお届けする「FUKUI HAPPY BABIES ～はじめてばこ～」の取り組みを2019年1月から行っています。

福井県をイメージしてデザインされた『はじめてばこ』の中には、赤ちゃんのはじめての記念を写真で残すためのアルバムや、コープの赤ちゃん用品などが詰められており、応募があったご家庭にお贈りしています。

- 2023年1月～2023年12月までの
お届け数 2,152件



■ きっずまつり

子育て委員会主催のきっずまつりをハーツきっずにて開催しました。ハイハイレースやベビー用品のバザー、子育て層向けのコープ商品の試食会を行いました。



■ 福井ユナイテッドFC&COOP サッカー教室

福井ユナイテッドFC&COOP サッカー教室を、各地区本部主催で年中から小学3年生を対象に開催しました。次代を担う子どもたちの健全育成へのお役立ちとして、福井ユナイテッドFCのスタッフの方を講師にボールコントロール練習、ドリブル練習、ミニゲームなどを行いました。

2023年11月 第1地区にて開催▶



■ 安全運転の取り組み

社会的責任のひとつとして、車輛事故・違反をリスクマネジメントに設定し、組合員や地域の模範となるような運転をめざしています。2019年11月からは、地域のこども園などからの依頼を受けて、「CO・OP子ども安全運転スクール」をのべ14施設、777名を対象に開催。未就学児を対象に、横断歩道の渡り方や死角についてなど、体験型の学びの場を提供しています。



■ コミュニティサイトLiCo ～Live with Coop～

2023年4月に子育て応援コミュニティサイトLiCo(リコ)をオープンしました。LiCoは、子育てママ同士の交流が図れるイベントや講座をはじめ、アンケートやモニター、コラムなど、子育てに役立つ情報を紹介する県民せいきょうの子育て応援コミュニティサイトです。



お子さんと一緒に参加できるイベントや、ママ・パパのための講座などを紹介します



商品をお試しいたいただきアンケートで意見や感想をいただける方を募集します



みんなはどうしてるの？
気になることをシェアしましょう



■ ふくまむ祭

2023年10月、福井新聞社の子育て世代応援プロジェクト「ふくまむ」が開催する親子の思い出に残るお祭り「ふくまむ祭」に参加しました。

子ども向けのお菓子まきや体験ブースがある中、県民せいきょうではごろりんアートやアンケート、コープ商品試食会を行いました。



地球温暖化対策・エネルギー対策

温室効果ガス削減計画

環境の取り組みを重要な社会的責任のひとつとして位置づけ、組合員や地域社会のみならずとともに、持続可能な循環型社会の実現をめざします。生協の事業活動を通じて「地球温暖化防止」「循環型社会の実現」「社会との調和」の取り組みを行い、豊かなくらしと地球環境保全の実現をめざします。

■ 温室効果ガス削減計画

2030年までに2013年対比50%の温室効果ガスを削減することを目標に温室効果ガス削減計画を設定して取り組みを進めています。「減らす(省エネ)」だけでは難しい目標を、「つくる(創エネ)」と「再エネ活用」により達成させていく計画となっています。施設の省エネは新規出店や改装時を中心に、また、フロン対策にあわせて機器の入れ替えや導入を行っています。

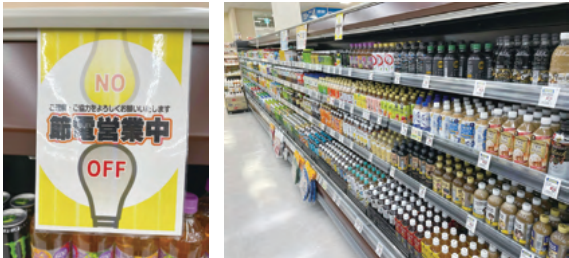
■ 太陽光発電システムの設置拡大

固定価格買取制度を活用し、太陽光発電の設置を進めてきましたが、2021年度からは、自家消費型太陽光発電の導入を進めています。2023年度にはハーツ6店舗で自家消費型太陽光発電設備を導入しました。太陽光発電は、FITで15ヵ所2274.5kW、自家消費で1784.5kW、合計4059kWの設備容量となりました。



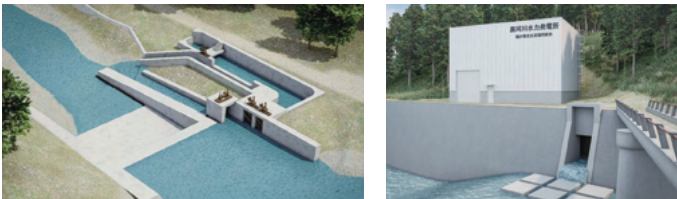
■ 店舗の省エネ・節電対策

店舗では、省エネと節電対策として、飲料ショーケースの消灯や夜間電源オフ、冬場の電源オフなどの取り組みを行いました。



■ 小水力発電事業

敦賀市の黒河川で、小水力発電の開発を進めています。2022年1月にFITの認定を受け、2023年4月より工事着工し、2025年6月の運転開始を目指して準備を進めています。「COOP黒河川水力発電所」は、流量1.8m³/s、落差34m、発電出力490kWで、水車は、国産の横軸フランシス水車を導入します。年間発電量3130MWhの発電を行い、約1000世帯分、ハーツでは2店舗分の電力をまかないます。



3Rの推進

循環型社会の構築に向けて



3Rの推進のために、買物袋持参運動だけでなく、容器包装のリサイクルや食品リサイクルの取り組みを積極的に進めています。集めた資源は、エコセンターで一次加工を行い、循環型社会の構築に向けての取り組みを展開しています。

■ エコセンター

組合員や事業所から出る紙やプラ類を集約し、品質の高いリサイクルの一次加工を行う施設を2015年6月に設立しました。県民せいきょうグループ「一般社団法人ほのほのハーツ」で障がい者雇用を行い、就労支援の場づくりとしても位置づけています。



エコセンター外観



大型圧縮機では、1tの古紙の塊を作っていきます。異物などは職員の手で取り除きます。

県民せいきょうで回収している資源とリサイクル品

ダンボール	紙製品
新聞紙 新聞折込チラシ	新聞紙など
注文書(コープファミリー等)	注文書
牛乳パック	紙製品
個人仕分袋・注文書袋	プラスチック製品
ペットボトル	ペット素材の原料
卵パック(A-PET)	プラスチック製品
食品トレイ	原料
エコキャップ	原料
アルミ缶・スチール缶	原料
小型家電	原料
天ぷら油(廃食油)	飼料や石けん

■エコセンター回収実績

	23年度	22年度	前年比
注文書	1,505t	1,588t	94.8%
ダンボール	566t	615t	92.0%
新聞紙	69t	90t	76.7%
プラスチック類	177t	130t	136.2%
合計	2,317t	2,423t	95.6%

■ 容器包装リサイクル

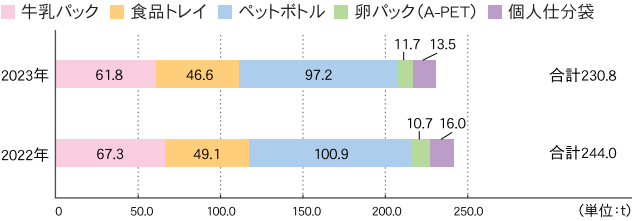
(ハーツ店頭回収・コープの宅配配送時回収)

地域の再生資源の回収拠点として県内小売の中でも最もたくさん容器包装を回収しています。



▲リサイクルBOX

■容器包装リサイクル回収量推移



■ リサイクルステーション

「リサイクルステーション」では、家庭から出る古紙(新聞紙・チラシ・雑誌・その他雑誌)と廃食油(てんぷら油)を回収しています。集めた古紙は再生紙として、廃食油は飼料や肥料、石けんなどにリサイクルされます。



■リサイクルステーション回収実績

	23年度	22年度	前年比
古紙	1,356t	1,397t	97.1%
廃食油	11t	10t	110.0%

■ 買物袋持参運動(リデュース)

2007年10月にハーツつるがで、福井県内の食品スーパーとして初めてレジ袋の有料化を実施し、2020年4月からはハーツわかさでも有料化を行い、全店に展開しました。レジ袋の販売によって得た収益は、地域の環境団体への寄付と環境分野の組合員活動に活用しました。

■持参率年次推移

	23年度	22年度	前年比		23年度	22年度	前年比
はるえ	91.7%	91.8%	99.9%	神中	88.4%	88.5%	99.9%
羽水	92.9%	93.3%	99.6%	たけふ	92.1%	92.5%	99.6%
学園	89.1%	89.3%	99.8%	つるが	90.1%	90.2%	99.9%
志比口	90.7%	90.7%	100.0%	三方五湖	89.4%	89.6%	99.8%
さばえ	91.9%	92.1%	99.8%	わかさ	84.0%	85.1%	98.7%
				全店平均	90.0%	90.4%	99.6%

■ 食品リサイクルの取り組み



■堆肥化率

	23年度	22年度	前年比
はるえ	87.8%	59.9%	146.6%
羽水	72.8%	72.7%	100.1%
学園	64.6%	72.1%	89.7%
志比口	70.1%	78.2%	89.6%
さばえ	61.5%	87.6%	70.2%
神中	60.0%	65.5%	91.6%
つるが	68.4%	63.3%	108.0%
全店平均	69.3%	71.8%	96.5%

※たけふ、わかさ、三方五湖では、堆肥化リサイクルは行っていません。

多様性を認め合う 活力ある組織をめざして



多様な働き方に対応できる雇用フレーム(勤務エリアや職務範囲の制限)やキャリア形成支援、心と身体の健康維持、増進活動などの支援を行っています。

仕事と家庭の両立支援制度では、独自の育児休暇制度としてベビー休暇制度(男性の育児休暇)や、1日2時間短縮して働くことができる短時間勤務制度があります。また、子育て支援制度(企業内託児)によって、育児と仕事の両立を支援しています。

■2023年度育児休業取得率	
男性	100.0%
女性	100.0%

有給取得率

有給休暇については、全職員個別に年間7日間の取得計画を年度初めに立て、計画的に取得しています。

2023年度の有給取得率は、全体で79.0%(一人あたり平均取得日数は13.4日)、R・L(正規)職員では70.1%(一人あたり平均取得日数12.7日)となっています。2023年度は対象職員全員が法定基準5日を上回る7日以上の有給休暇を取得しました。

■2023年度実績

雇用区分	有給取得率	一人あたり平均取得日数
R・L職員【正規職員】	70.1%	12.7日
P・E職員【非正規職員】	84.3%	13.8日
全体	79.0%	13.4日

身だしなみ基準の見直し

職員が互いの多様性を認め尊重し、一人ひとりが意欲を持って働ける環境を整える取り組みとして、身だしなみ基準を見直しました。自分らしさや能力を最大限に発揮し、これまで以上に生産性と業務品質を向上させることで、組合員・利用者の皆さまへの満足向上につなげていきます。

身だしなみの基本的な考え方

- ①原則自由とし、保健衛生・食品衛生法・労働安全衛生法の観点から、衛生的で安全な動きやすいものとします。
- ②制服を正しく着用します。
- ③清潔感があり好感が持てるものとします。

フレックスタイム制の導入

多様な働き方への取り組みとして、職員へあらかじめ働く時間の総量(総労働時間)を決めた上で日々の出勤退勤時間や働く長さを自由に決定するフレックスタイム制を導入しています。フレックスタイム制の導入によって、労働時間を効率的に配分することが可能となり、労働生産性の向上が期待できます。仕事と生活の調和も図りやすくなることによって職員の働きやすい職場となるようにしています。

職員意識調査

毎年1回、組織に対する思いや各施策に対する理解度や意見・要望を把握するために全職員に対し、「職員意識調査」を実施しています。その中で理念やビジョンに共感し、仕事にやりがいを持ってイキイキと働く職員を「コアパーソン」と位置づけています。職員意識調査の結果や職員の声を分析し、翌年度の施策に反映することで、組合員・利用者にしっかりと向き合うことができる職員育成と、それを支える土壌づくり(組織風土)に取り組んでいます。

●コアパーソン比率 81.0%

ほのぼののハーツ(障がい者雇用)

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するために障がい者福祉サービス事業所(就労継続支援)として事業を行っています。

主に県民せいきょうの事業所(COOP宅配センター・エコセンター・農産加工センター)で、一般就労に近い環境の中、現在約110名の障がい者のみなさんが生協関係職員と一緒に仕事をしています。

ほのぼののハーツ 法人理念

「誰もが、安心してくらせる地域社会をめざします」

事業所名	ふくい事業所	たんなん事業所	さかい事業所	嶺南事業所
定員	40人	20人	30人	20人
開始日	2012年5月1日	2014年7月1日	2015年1月1日	2016年1月1日



職員が働き続けるために

職場の上司や先輩職員がトレーナーとなり教育を進めるOJT活動を通して、必要な知識や能力・技術を教育するとともに、面談を通して仕事に対する不安や悩みの解消を行っています。また、各職場に所属長以外の相談窓口として、一般職の中から「労務相談員」を選出し、相談がしやすい環境整備を行っています。

■2023年度離職率

R・L職員【正規職員】	7.57%
P職員【非正規職員】	11.59%
全体	10.07%

■離職率

$$\frac{\text{離職者数} - \text{一定年退職者数}}{\text{年度末人数} + \text{離職者数}} \times 100$$



▲2024年度新入協職員



▲創立45周年記念旅行



▲くるみんパパの会

イクボス宣言

職員のワークライフバランス実現に向けた具体的な取り組みを進めていくために、2019年3月に「イクボス宣言」を行いました。

イクボス宣言内容

- ①職員の働き方改革・生産性改革に取り組み、時間外労働の削減と有給休暇取得を推進
- ②「傾聴」「感謝」「褒める」「祝う」を通してチャレンジし続ける職場風土の構築
- ③挨拶・声かけを率先し、風通しの良い職場環境づくりと多様な働き方を認め合う職場づくり

共済会り〜ふ

共済会「り〜ふ」は職員の相互扶助の精神に基づいて作られた福利厚生のための組織です。健康診断補助などの健康・医療事業、職員の慶弔に対する慶弔金、資格取得や通信教育受講費の補助を行っています。さらに、職員交流のための団体旅行や年賀会企画、職場内交流会援助などを行っています。

学び育む教育制度

入協後にはOJT活動や必須教育、業態別専門教育、階層別教育を基本に、職員一人ひとりに応じた教育を行っています。さらに、職員の「学びたい」ニーズに応えるために通信教育や資格取得、研修受講に対する助成金制度を設けています。また、職員の自主参加型講座の開催などを通して自己啓発をサポートしています。

創発と共創を促す組織風土

- 褒め認め合う組織づくり
- ・マイスター制度・各種表彰制度・アイデア提案制度・仕事品質向上活動
- 役員懇談会の実施
- 職員ニーズの把握
- ・自己申告書・職員意識調査

経営品質活動の取り組み、 アイデア提案制度、仕事品質向上活動

職員による改善

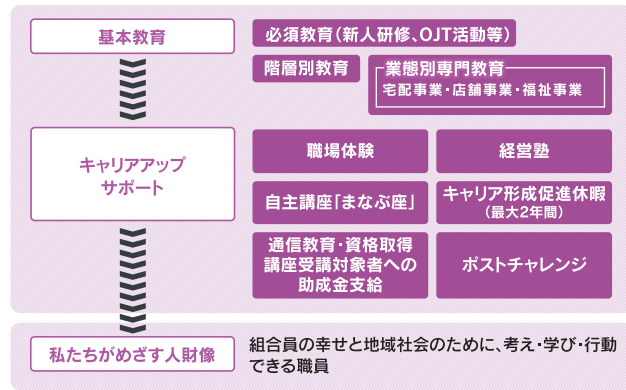
〈アイデア提案制度 ～小さな気づきからの改善と仕事品質の向上〜〉

職員の気づきから仕事の品質向上につなげ、組合員満足の上昇につなげる提案制度で、年間約2,500件の提案があります。毎月管理職会議で効果のあった提案について投票し、「グッドアイデア月間MVP」を決定しています。生協内で表彰し、MVPニュースで共有しています。他の事業所でも好事例を活用できないか話し合い、一人の職員のアイデアを全体へつなげる取り組みを行っています。

〈仕事品質向上活動 ～チームで進めるお役立ち価値・仕事品質の向上〜〉

仕事品質の向上を図り、組合員利用者の満足度向上へつなげることを目的に、事業所やチーム単位で課題や「あるべき姿」について話し合い、テーマを設定、改善に取り組んでいます。

学び育む教育制度



サステナビリティに関する 受賞・表彰



■ 全国初 Wプラチナ認定 「プラチナくるみん」「プラチナえるぼし」認定企業になりました

2017年に次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」としてより高い水準の取り組みを行ったことが認められ「プラチナくるみん」に認定されました。さらに2020年には女性活躍推進法に基づき、取り組み状況が特に優良であるなど一定の要件を満たしたため、「プラチナえるぼし」に認定されました。両方の「プラチナ」認定を受けた企業としては全国初となります。

引き続きすべての職員が仕事と生活を両立しながらイキイキと働き続けることができるような、働きやすい職場環境の整備を進めています。

	23年度	22年度	前年比
女性管理職比率	27.1%	22.7%	119.3%
女性管理・監督職比率	51.4%	53.1%	96.7%



■ 健康経営優良法人 (大規模法人部門) 認定取得

地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに優良な健康経営を実践している法人として健康経営優良法人の認定を取得しました。



■ 令和4年度「社員ファーストアワード」表彰 金賞受賞

福井県では、社員ファースト企業宣言を行った企業の中から、「労働環境の改善」「ダイバーシティ(多様性)の推進」「リカレント・リスキリング(教育)の推進」の視点で、特に優れた取り組みを実践している企業を表彰する「社員ファーストアワード」を令和4年度から実施し、「育児と仕事の両立支援が進んでいる」、「リカレント・リスキリングの制度が充実している」といった点が評価され、「金賞」を受賞しました。

■ 福井県カーボンニュートラル 推進企業表彰 受賞

2050年温室効果ガス排出実質ゼロ(カーボンニュートラル)に向けた取り組みを行っている企業として、福井県より「省エネ・再エネ部門賞」を受賞しました。



表彰式 2024年3月25日
(左)福井県 中村副知事
(右)県民せいきょう 広辻常務理事▶

サステナビリティレポート 2024

地域へのお役立ち

地域とのつながりを大切に安全・安心な地域づくりを応援



■ 小浜市と包括連携協定締結

9月5日(火)、小浜市と包括連携協定の締結式を行い、松崎市長と松宮理事長が協定書に調印しました。

これまで小浜市とは、2022年からフードドライブの連携や、アルツハイマー月間での認知症啓発活動などの取り組みを進めてきましたが、このたびの包括連携協定で「SDGs」「脱炭素社会」「地域福祉」など11項目について、長期的な連携を進めていくことを確認しました。

県民せいきょうが、県内の自治体と包括連携協定を結ぶのは、2017年9月南越前町・南越前町商工会河野支部・南越前町河野観光協会・株式会社ファミリーマートとの5者連携協定、2019年9月鯖江市、2020年9月越前市、2021年9月大野市に続く5例目です。

項目	23年度	22年度	前年比
地域団体・行政とのネットワーク数	362件	343件	105.5%



■ 食と農の温室効果ガス削減運動の 連携協定締結

2023年6月、越前市、JA越前たけふ、越前市社協、県民せいきょうの4者で、「地域一体型 食と農の温室効果ガス削減運動に関する連携協定」の締結式が行われました。協定では、地域一体となって、生産から流通、消費まで、食と農を通じた温室効果ガスの削減を行うための様々な施策を連携していくことを約束しました。



■ 鯖江市と「災害時における指定福祉避難所の 設置運営に関する協定書」締結

2023年8月、鯖江市が個別避難計画作成者の福祉避難所への直接避難を促進することを推奨し、個別避難計画作成者を対象に直接避難を実施するため、有事の直接避難に向けた指定福祉避難所の設置運営に関し、協定締結を行いました。



■ 生活困窮者のためのフードバンク・フードドライブ活動・子ども食堂への食料支援

フードバンクは、2014年よりハーツのカップ麺や缶詰、レトルト食品、お米など日持ちする食品を、年3回、社会福祉協議会や自立支援センター、子ども食堂を通じて生活困窮者や必要としている家庭に提供しています。2016年からは、宅配の予備食品を子ども食堂(7団体)に提供することで食品ロス削減に取り組んでいます。2022年度は、食品提供事業者のネットワーク「福井県フードバンク連絡会」を設立し(2024年4月現在18団体)食品収集と提供のしくみを構築しました。

フードドライブは、2019年からハーツ10店舗と介護施設きらめき2ヶ所において家庭で余っている食品を集めて、福祉施設や子ども食堂に提供しています。フードドライブは食品廃棄ロスの削減にもつながる取り組みです。現在、福井市・鯖江市・越前市・大野市・小浜市・若狭町など自治体と共同の取り組みに広がっています。

■ 2023年度実績

項目	回数	数量(点)	重量(t)	金額換算(千円)
フードバンク活動	4回	34,867	10.6	1,144
宅配の予備食品の子ども食堂への提供	12回	8,811	—	3,796
フードドライブ活動	11回	8,323	2.4	—

※フードバンク活動の数量は連絡としての点数と重量、金額は店舗ハーツからの拠出額



▲23年12月18日福井県フードバンク連絡会とこども食堂ネットワークふくいとの交流会



▲23年12月6日福井市木田小学校の児童25名が162点のフードドライブ食品をハーツ羽水に持参いただきました

■ 協同組合連携による県内学生への 食料支援

JA福井県と漁業協同組合と連携して2023年12月に県産の米や缶詰などを物価高で困窮している県内5大学540人の学生にプレゼントしました。



■ ドローン実証実験

福井新聞社、ふくいレインボーファームとの連携のもとドローンを使った食料品等物資の輸送にかかる実証実験を実施しました。県内では過疎化が進む一方で自然災害も頻発しており、住み慣れた地で安心して暮らし続けるためのインフラ整備は重要な課題の一つとなっています。この実証実験を通じ、県民の生活物資調達未来に向けた新しいインフラの可能性を探っていきます。



災害支援 BCP対策

つながろうCO・OPアクション



24年1月 令和6年能登半島地震支援・募金活動

1月1日能登半島で発生した大震災に対して1月3日から3月末まで、宅配・店舗・職員で緊急募金に取り組み、2,354万円の募金が寄せられ、日本赤十字社福井県支部と福井県共同募金会に各1,000万円を義援金として贈呈しました。

被災地への支援活動として1月8日より1週間毎日10名の職員をコープいしかわに派遣し宅配を支援しました。以後も継続して宅配支援や共済訪問活動を行いました。さらに福井県からの要請を受け、支援物資をお届けしました(缶詰3,240個、水600本)。また、福井県介護福祉士会からの要請を受け、石川県の1.5次避難所に福祉職員を派遣しました。



オリジナル防災セット

令和6年能登半島地震の発生を受けて日頃の災害への備えを行っていただくために、福井新聞社との共同企画で3月にオリジナル防災セット企画を行いました。



豪雨支援活動

2022年8月南越前町での豪雨災害を踏まえ、災害発生時に支援用タオルを迅速に対応できるよう2回組員からタオルの回収と備蓄を行ってきました。

2023年7月北九州での災害に対してコープおおいた及び生協くまもとより要請を受け、緊急で備蓄のタオル2,000枚を大分県に、310枚を熊本県に発送しました。2023年9月の台風13号による大雨被害に対してもいばらきコープより要請を受け、1,130枚を茨城県に発送しました。コープおおいた・生協くまもと・いばらきコープを通じて、被災地の災害支援に活用いただきました。



BCP対策

大雪への備え 除雪車導入

この間の豪雪を受けて、大雪への備えを強化しました。大型のホイールローダ(除雪車両)を、各地区本部に2台ずつ配備しました。これまで大雪時には、業者に委託して駐車場を除雪していましたが、自前で除雪ができるようになり、雪の日の組合員の駐車場の利用のしやすさや、配送拠点での対応力強化につながりました。



▲ホイールローダ(除雪車両)

東日本大震災支援活動の継続

被災地を支える

福島ひまわり里親プロジェクトに大野・勝山きらめきの職員と組員が参加しました。

東日本大震災後、福島県の障がい者福祉施設で仕事なくなり、困っているのをなんとか助けたいと始まったプロジェクトです。



▲ひまわり里親プロジェクトの大野きらめき

被災地を忘れない・ボランティア活動を支える

岩手県陸前高田市の桜ライン311(植樹ボランティア活動)に対して、桜の苗木の寄付に取り組んでいます。



福井県内自治体別 各種協定締結一覧

協 定		市 町																		締 結 数	福 井 県
		あわら市	坂井市	勝山市	大野市	福井市	永平寺町	鯖江市	越前市	越前町	池田町	南越前町	敦賀市	小浜市	美浜町	若狭町	おおい町	高浜町			
災害物資協力協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	○		
災害発生時福祉避難所設置運営協定	対象事業所	—	—	—	大野きらめき	宝永きらめき 江守きらめき 岡保きらめき	—	鯖江きらめき	丹南きらめき	—	—	—	敦賀きらめき	—	—	—	—	5自治体7事業所			
地域見守り活動協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町			
包括協定	協定の有無				○			○	○		○		○					4市1町			
レジ袋削減協定	協定の有無					○		○	○			○	○					5市	○		

地域の自治体関係団体への主な委員一覧

	機 関 名	役 職 名
経営	福井経済同友会	幹事
	福井商工会議所	議員
	一般社団法人福井県経営品質協議会	副会長・運営委員
	福井県社会福祉協議会	評議員
福祉介護	福井県小規模多機能居宅介護支援事業所連絡協議会	事務局長
	福井県認知症キャラバン・メイト協議会	委員
	福井県地域包括・在宅介護支援センター協議会	理事
	大野市結の心つながる支え合いの地域づくり推進会議	委員
	大野市大野地区第二層協議体	委員
	大野市富田地区第二層協議体	委員
	大野市徘徊高齢者SOSネットワーク事業	委員
	勝山市介護保険運営審議会	委員
	奥越地区障害者自立支援協議会	委員
	福井市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
	越前市介護予防・生活支援サービス協議体	委員
	越前町生活支援事業協議体会議	委員
	越前市介護保険運営協議会	委員
	福井県長寿医療運営懇話会	委員
	鯖江市介護予防・日常生活支援推進協議体	委員
	鯖江市在宅医療・介護連携推進協議会	委員
	鯖江市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会	委員
	敦賀市介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員
	美浜町介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員
	小浜市介護予防・日常生活支援総合支援事業推進協議体	委員
男女共同参画	敦賀市介護認定審査会	委員
	敦賀市認知症支援推進協議会	委員
	大関まちづくり協議会	委員
	全国地域包括ケアシステム連絡会	理事
	一般社団法人福井県介護福祉士会	理事
	あわら市安心生活ネットワーク連絡会	委員
	あわら市社会福祉協議会	評議員
	あわら市認知症地域支援推進委員	推進委員
	ケアマネSAKAI	運営委員
	公益社団法人認知症のひと家族の会	理事
その他	福井県介護者支援における有識者会議	委員
	福井県食生活推進協議会	委員
	福井県食生活推進協議会	委員
	福井県食生活推進協議会	委員
	福井県食生活推進協議会	委員
	福井県食生活推進協議会	委員
	福井県食生活推進協議会	委員
	福井県食生活推進協議会	委員
	福井県食生活推進協議会	委員
	福井県食生活推進協議会	委員

	機 関 名	役 職 名
食育・農業	ふくいの食育・地産地消推進県民会議	委員
	福井県農林水産業活動化支援研究強化会議	外部評価委員
	福井市食育推進会議	委員
	厳選・ふくいの味認証委員会	委員
	鯖江市食育基本計画策定委員会	委員
	元気さばえ食育推進会議	委員
	福井市水産加工品開発等検討会	委員
	越前市食と農の創造審議会	委員
	環境ふくい推進協議会	委員長・育成支援部会長
	福井市環境推進会議	委員
環境	福井市くらしと環境をよくする会	企画委員・会長
	福井市廃棄物減量推進会議	委員
	鯖江市ごみ問題懇話会	委員
	鯖江市環境まちづくり委員会	委員
	つるが環境みらいネットワーク	委員
	大野市脱炭素推進会議	委員
ボランティア	福井県災害ボランティアセンター連絡会	委員
	福井県ボランティアセンター運営委員会	運営委員
	福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会	運営委員
労働	福井公共職業安定所	公正採用選考人権啓発推進員
	福井県労働者福祉協議会	幹事
	公益財団法人福井県労働者福祉基金協会	理事・評議員
	一般財団法人福井県労働者信用基金協会	評議員
	一般社団法人福井県労働福祉会館	理事
男女共同参画	坂井市男女共同参画審議会	委員
	福井市男女共同参画ネットワーク	委員
	鯖江市男女共同参画審議会	委員
	さばえ男女共同参画ネットワーク	理事
	つるが男女共同参画ネットワーク	理事
その他	小浜男女共同参画ネットワーク	理事
	福井市子ども・子育て審議会	委員
	青少年健全育成敦賀市民会議	委員
	福井県協同組合連絡会	構成員
	福井県フードバンク連絡会	代表・事務局長